

7/2(火) サステナビリティ・CSR ウェビナー

「サステナビリティ経営の推進に向けた従業員の共感拡充・行動変容を加速するための対策のあり方」

■ 講演者・ファシリテーター プロフィール

加賀谷 哲之氏（一橋大学 大学院経営管理研究科 教授、CSR 研究会座長）

2000 年一橋大学大学院商学研究会博士課程修了。一橋大学商学部専任講師、助教授を経て 07 年より大学院商学研究科 准教授。2020 年より現職。専門分野は財務会計、IR、リスク管理、企業価値評価。研究領域は、会計属性の国際比較、無形資産の会計・評価、リスク管理・評価（BCM や情報セキュリティなどを中心に）。研究論文「サステナビリティ開示の拡充とその影響」月刊資本市場（450）4-14 2023 年 2 月等。

岩崎 有里子氏（ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 ヘッド オブ コミュニケーション）

筑波大学国際総合学類卒業。高校時代にスウェーデンに留学したことがきっかけで、2006 年にイケア・ジャパンへ入社。17 年在籍し、不動産開発、マーケティング、コミュニケーションに携わる。カンントリーコミュニケーションマネジャーを 7 年経験した後、2023 年ユニリーバ・ジャパンへヘッド オブ コミュニケーションとして入社。社内外のコミュニケーション、Corporate Affairs の責任者を務める。小学校 3 年生と 6 年生の 2 児の母。

柏尾 亜優実氏（積水ハウス株式会社 ESG 経営推進本部 IR 部 アシスタントマネージャー）

1998 年当社札幌支店に一般職として入社。2006 年に創設された職群転換制度に応募し、総合職へ転換すると同時に当社本社（大阪）に転勤、コーポレートコミュニケーション部 CSR 室に配属。障がい者支援や教育支援活動、サステナビリティレポートの制作等に 4 年間携わる。2011 年新設の IR 部に異動。現在、チームリーダーとして投資家とのエンゲージメント全般に携わるほか、「Value Report（統合報告書）」編集責任者を 4 年間務めた。

遠藤 早苗氏（富士通株式会社 CEO 室 Sustainability Division マネージャー）

関西学院大学総合政策学部卒。富士ゼロックスに入社、SE として文書管理システム等の導入、運用支援を 7 年ほど務めた。その後、グローバルに提供する IT サービスの企画や技術サポートに従事し、既存データを中心とし SDGs と結びつけた IT サービスを考案するなど CSR 業務に関心を寄せる。2021 年 8 月より、富士通に入社、サステナビリティ推進の社内外エンゲージメント（パーパス、社内表彰制度、統合レポート他）に携わる。

富田 秀実氏（LRQA サステナビリティ株式会社 代表取締役）

東京大学工学部物理工学科卒。プリンストン大学工学部化学工学修士修了。ソニー株式会社で、2003 年の CSR 部発足当初から統括部長を約 10 年務める。その後、ロイドレジスター クオリティアシュアランス（LRQA）入社を経て、現在、LRQA サステナビリティ株式会社代表取締役。ISO 26000, ISO 20400, GRI スタンダード、東京オリンピック・パラリンピック持続可能な調達コード等、国内外の規格等の策定に多数参加。

福岡 徹（一般財団法人企業活力研究所 専務理事）

東京大学経済学部卒。1986 年に通商産業省（現・経済産業省）に入省し、2018 年に経済産業省を退官。この間、経済企画庁、外務省、農林水産省、消費者庁や（独）産業技術総合研究所でも勤務。2019 年から、（一財）企業活力研究所の専務理事として、同財団の業務を推進。